

No	3	事業名	学校図書館教育推進事業
所属	教育振興部学校教育課研究係	事業開始年度	平成25年度
事業内容	学校司書を配置し、学校図書館の環境整備を行うとともに、学校図書館の利用促進を図ります。 学校司書の配置により、書籍管理の徹底や図書館環境の充実、本の貸し出し数の増加だけでなく、児童生徒への読み聞かせ、調べ学習等授業の補助、図書館教育など学習環境全体の充実が見込まれます。 また、アンフォーレや地域ボランティアとの連携を図り、学校図書館環境の活性化を図ります。		
目的	児童生徒が読書に親しみ、学校図書館を利用する学習が活発になる。		

【実施状況】

平成28年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書（15人）を小中学校1校当たり年間約500時間（週約14時間）配置しました。 年間貸出冊数 約27万冊 授業に直接参加（直接支援）したり、教科担任からの依頼により授業に必要な書籍を準備したり資料を活用した調べ学習等の相談に乗ったりする（間接支援）支援が、合わせて全校で1,101件ありました。 ◎学校司書の勤務内容 <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館での本の貸し出し、本の補修、蔵書点検等を行います。 学校図書館の蔵書並びに読書環境等の整備を進めます。 毎月1回（除：8月）学校司書連絡会へ参加し、図書館運営等についての研修を実施しています。 児童・生徒の図書委員会への活動支援、朝の読書の時間帯を利用したブックトークや本の紹介、学校図書ボランティア説明会の準備進行、職場体験学習支援など学校行事の調べ学習等への支援を行います。 国立図書館など他の図書館への申し込みの対応をします。 		
	平成29年度実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 学校司書（24人）を小中学校1校当たり年間約700時間（週約20時間）配置しています。 ◎今年度の新たな取り組み「アンフォーレとの連携」 <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館と図書情報館等公共図書館のシステムを一元化し、学校で公共図書館の本を借りられるようになりました。 4月より、図書情報館から各校への本の配送が始まった。本が20冊ずつ入ったコンテナが3週間ごとに各学年3箱ずつ、安城市シルバー人材センターの方により配達されるようになりました。 上記配達便では、図書情報館等公共図書館が所蔵する資料から調べ学習等の授業で使用するために貸し出しを希望する本等についても学校へ配達されます。 		
活動実績	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書(8人)を小中学校1校当たり年間約300時間(週約8時間)配置しました。 年間貸出冊数 約24万冊 授業等への直接支援と間接支援を合わせて全校で1,044件ありました。 	
	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書(8人)を小中学校1校当たり年間約300時間(週約8時間)配置しました。 年間貸出冊数 約19万5000冊 授業への直接支援と間接支援を合わせて全校で782件ありました。 	
改善取組 (これまでの改善内容)	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書の学校1人配置に向けて司書の募集・採用を進めています。 「学校司書連絡会」を月1回開催し、図書館運営・授業支援や図書館司書と学校司書の業務の違い、担うべき役割等について研修を行い、学校司書の資質向上のための研鑽を積んでいます(平成29年度からは図書館教育アドバイザーを配置)。 平成29年度は、アンフォーレとの連携を図るとともに、アンフォーレから配送される本の活用・管理を進めます。 		
関連事業 (同一目的事業等)	なし		

平成29年度公開行政レビュー 事業評価シート

【事業費】

年間事業費等の推移	No	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	①	事業費(決算額)	(千円)	7,805	7,799
事業費内訳	学校司書賃金		7,793	7,787	13,325
	学校司書の研修旅費		12	12	30
②	人件費(従事職員数×6,300千円)		1,890	1,890	2,520
	従事職員数	(人)	0.30	0.30	0.40
③	総事業費(①+②)	(千円)	9,695	9,689	15,875
財源内訳	一般財源	(千円)	9,695	9,689	15,875
	特定財源()	(千円)	0		0
	財源合計	(千円)	9,695	9,689	15,875

【参考比較】

他市の実施状況等	学校司書の人数	司書資格	1校あたりの平均時間数	学校司書の配置の形態・その他	学校数			市図書館との物流ネットワーク
					小学校	中学校	合計	
安城市	24人	○	週 3日程度 1日 約6時間	・2校を兼務している学校司書がいる。	21校	8校	29校	○
岡崎市	流動的(校長の判断による)	×	週 4日程度 1日2時間以上	・教育補助員(スクールアシスタント)が兼務する。	47校	20校	67校	×
碧南市	8人	○	小:週5日、1日6時間 中:週1日、1日6時間	・小学校は全校に配置する。 ・中学校は5校に1人配置している。	7校	5校	12校	×
刈谷市	3人	×	月 2日程度 1日 5時間45分	・司書教諭資格(2人)	15校	6校	21校	×
豊田市	38人	△	週 1日程度 1日 6時間		75校	28校	103校	×
西尾市	17人	○	拠点校 11校 週 5日 1日 8時間 6校 週 5日 1日 6時間	・小学校13校、中学校4校を拠点校として、近隣校へ学校からの依頼により週1回程度派遣される。 ・拠点校は、約2年サイクルで変更する。	26校	10校	36校	×
知立市	10人	×	1日 4時間		7校	3校	10校	×
高浜市	0人	△		・配置なし	5校	2校	7校	×
幸田町	3人	×	週 1日程度 1日 7時間		6校	3校	9校	×

※司書資格は、全員所持の場合は○、所持していない人がいる場合は△、資格の有無を問わない場合は×
※勤務時間数等は、市、校種などによって異なる場合があります。そのためおおよその数値として表示しました。

【課題】

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	「足を運びたくなる図書館」にするため、学校図書館環境をより魅力的なものとしたり、図書館教育を充実させたりするため、学校司書の配置のさらなる充実、資質の向上、図書情報館との連携などを検討、推進していく必要があります。

【論点】

公開行政レビューでの論点	全校に学校司書を常時1人配置とし、さらに子どもたちが読書に親しめるようにするために、学校図書館の環境づくりや図書情報館との連携、教育活動の推進を図っていきたいが、どうか。
--------------	---